

令和元年度 学び舎ひまわり 第3講 開催報告

日 時：令和元年10月20日（日） 10時30分～12時00分

会 場：日野南小学校、野村港南台・港南つつじヶ丘自治会館

受講生：20名

プログラム内容

昨年度から始まった、日野南スポーツフェスタ。連合・自治会町内会・委嘱委員・地区社会福祉協議会と地元小中学校や地域スポーツ団体が力をあわせて実施しています。会場の見学に加え、行事が始まった経緯や、開催にあたり工夫していることなどを日野南スポーツフェスタ実行委員会の上田会長と脇田事務局長にお伺いしました。

【背景】

日野南地区では、1970年代から80年代にかけて、地域の行事として「運動会」が行われていました。しかし、少子高齢化の影響により、運動会は中止となり、最近ではスポーツを楽しむ大人の姿は少なくなっています。

また、地域で行われているスポーツは、参加者が固定化されてしまっているという課題があります。そこで、地域の子どもから高齢者までがスポーツを介して楽しく集う場をつくろうということで、平成30年度に実施されたのが始まりです。

【上田会長より】

普段、スポーツ推進委員はグランドゴルフを、保健活動推進員はポッチャを開催していますが、参加者はほぼ高齢者で固定化されてしまっていました。

そこで、港南区体育協会が行っている「スポーツ・エンジョイ・フェスティバル」をまねて、様々なスポーツを同じ会場で一度に行おうということで始めました。

しかし、これら全てのスポーツの企画・運営を自治会の役員がやることは難しいので、各スポーツの主催団体に実施する内容は考えてもらっています。

やってみたいと思う人が集まりイベントを開催し、連合は活動の支援を行うという考えのもと実施をしています。

スポーツ推進委員や保健活動推進員、日野南地区で活動している団体、学校開放時に学校を利用しているスポーツ団体などが一体となって開催しており、この日野南スポーツフェスタを通じて各団体間のつながりができたという効果も感じています。



【脇田事務局長より】

実施するにあたりスローガンを設けています。

- ①スポーツを介して地域のみんが集まる
- ②スポーツの楽しさを感じてもらう
- ③身体を動かすきっかけづくりとする

このスローガンを掲げ、各団体に声をかけたら「やってみましょう！」と協力してくれる団体が多かったです。見学いただくと分かるかと思いますが、運営する側も楽しみながらやっています。これも継続して開催できた要因の一つだと思います。



【講座の様子】

上田会長、脇田事務局長からの講義



見学及びブース担当者から説明



ボッチャに参加させてもらいました



自治会館にて気づきの共有と振り返り



【内海先生より】

これまで自治会町内会のイベントは、役員が企画・運営を直接行う動員型が通常でしたが、少子高齢化の影響や、役員の担い手不足により機能しなくなってきました。

企画の趣旨に賛同する人達が自主的に企画し、参加者も興味があることを楽しくやるという今までと違う新しいやり方で創意工夫がされていて、とても魅力的なイベントです。

また、その種目を専門的にやるというのではなく、素人でも参加できるような内容のため、身体を動かすきっかけとなり健康づくりにもつながる良い取組だと思います。



【主な質疑応答】

○実行委員への最初の声かけはどのようにしましたか？

→連合の理事になっている団体(委嘱団体等)と、小学校、PTA、親父の会、学校開放時に小学校を利用しているスポーツ団体に声をかけて集まってもらいました。

○実行委員会は何回やっていますか？

→今年は4回やりました。

○学校との関わりはどのような感じですか？

→学校としては、地域との連携という6年生の授業として活用されているようです。学校には場所を貸していただいたり、ティーベースボールやバスケットボールを運営いただいたりと協力いただいています。子どものための学校行事にはしたくはありませんでした。子どもから大人のためまで、楽しめるような行事にしたいということで学校には協力してもらっています。

学びのまとめ 集計結果

回答数 19 件 / 回収率 95%

満足	やや満足	やや不満	不満	その他
10	8	0	0	1
53%	42%	0%	0%	5%

【受講生の主な意見】

- ・色々なスポーツを集めて、みんなが参加できるのは非常に良いと思った。
- ・「無理のない運営」は、継続した行事開催を行う上でポイントになる。
- ・自分の地区でもこのようなイベントをやってみたいと思った。
- ・小中学校の子どもたちがスポーツ体験ブースの運営をしているのは素晴らしい。
- ・子どもとその親など、若い世代が多く来ていて活気があった。高齢者をもっと呼べるようになると、より3世代交流が進むと思った。